



保二小の矜恃

No. 4

西東京市立保谷第二小学校
校長 神山 繁樹

Smile & Positive であることに挑む

校長 神山 繁樹

「校長先生ッ」とびきりの笑顔からの元気な声。
4月に着任して以来、純朴で純粹で素直で無邪気な子供の心に触れると、自分の心に爽やかな風が流れていきます。保護者・地域の方々からも学校や地域で明るい笑顔でお声がけいただき、心楽しくなります。

ふわふわことば

全校で取り組んでいる“ふわふわことば”カードを6年生からもらいました。
自分にとってはまったくのサプライズ!

「1年だけですが卒業までよろしくお願いします。
困ったことがあればいつでも受け付けます!」
「1年間よろしくお願いします。何かあれば6年生に任せてください。」

私が子供たちへ向けて発すべき台詞を、逆に贈ってもらいました。気持ちをありがたく受け取るとともに、「自分の仕事頑張ります!!」という想いで暑さを吹き飛ばしました。

挨拶から発するメッセージ

「神山校長先生ッ、おはようございます。」名前付きの、丁寧で礼儀正しい挨拶の言葉。
ストレートに見つめる瞳で、キリリとした顔つきで“私からあなたへのメッセージを受け取ってください。”と対峙できる瞬間は心温まります。
このコミュニケーションの取り方は、私から4年生に趣旨を説明してお願いしたことです。
校外学習での規律のよさを地域の方々にも認められている4年生は快く受け容れてくれました。
素敵などころは、私以外の先生に対してもこの実践を広げていこうとしているところです。
私は、「4年生は学校の礼節」と位置付けることにしました。

自分を知る体力テスト

一生懸命やっている姿を友達や兄弟学年の人が応援し自分の記録に挑戦しました。苦手なことでもあきらめずに、必死に力を出し切った子供たちが笑顔なのは周りに応援している人がいたからでしょう。

体力テストで明らかになるのは、自分の体力だけではなく、自分の性格と友達のよさです。
どんなときでもどんな場面でも、自分を高めたり、人のよさを実感するチャンスがあります。

Cry & Negative

学習・生活上での問題解決に立ち向かう際に、クリアしなければならない課題があります。
知識・技能で解決できるものもあれば、新しい力を生み出したり、心の有り様を問うたり、人との関係を調整したりすることが必要になるものもあります。

特に、Cry & Negativeな課題は、より強固なSmile & Positiveになる学びと捉えています。
子供たちには、解決過程で、なかなか結果が出なくても我慢して粘り強くあきらめずにやり抜く力を身に付けてほしい。自分に責が生じた場合は素直に認める潔さをもってほしい。
自分の他に相手がいる場合は、お互いが心地よく生きていくことができるゴールを想像して、何をすべきかを心で考えることができるようになってほしい。

ときに、地域の方より苦情、苦言をいただくと、「しっかり指導し、再発防止に努める約束」をし、今後も保二小の子供たちを見守っていただくお願いをしています。

保護者・地域の方とともに

“Smile & Positive であることに挑む保二小の子供の姿”

に感動・感激する学校でありたいです。